

News Release (1) 南丹市

【平成30年9月6日(木) 15時発表】

▼南丹市立文化博物館秋季企画展を開催します 没後50年「人見少華展～南画を極めた文人画家～」

■内容

人見少華(船井郡富本村 生: 現南丹市八木町氷所) 作品展を開催します。
今回展覧する作品は、文展・南画院展への出品作をはじめ学生時代の習作など、初公開の作品を多く公開します。

- 開催日時: 平成30年9月8日(土)～10月21日(日)
午前9時～午後5時(入館は4時30分)
- 休館日: 毎週月曜日(但し、9/17・24、10/8は開館)
- 入館料: 大人300円・高校大学生: 200円・小中学生100円
(20名以上の団体は2割引、各種手帳の所持の方及び介添え人1名半額、南丹市内在住の小中学生は無料)
- イベント ギャラリートーク
 - ・9月16日(日) 午後1時30分～
講師: 今西 進齊氏(全国水墨画美術協会 無鑑査)
 - ・10月6日(土) 午後1時30分～
講師: 小島 堯氏(日本南画院 理事)

◆この記事に関するお問い合わせ

南丹市立文化博物館 担当: 井尻 (電話 0771-68-0081)



南画を極めた文人画家

hitomi
shoka

2018年
9月8日[土] →
10月21日[日]

開館20周年記念・平成30年度秋季企画展

少人見 華

開館時間＝9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)

休館日＝毎週月曜日(9/17・24、10/8は開館)、9/18・25、10/9

入館料＝大人300円／学生(高校生以上)200円／小人100円

※幼児および南丹市内在住・在校の小・中学生は無料 ※20名以上の団体は2割引

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は半額

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 TEL: 0771 (68) 0081 FAX: 0771 (63) 2983

関連事業「ギャラリートーク」

①日時：9月16日(日) 13:30～15:00

講師：今西進齊氏(全国水墨画美術協会 無鑑査)

②日時：10月6日(土) 13:30～15:00

講師：小島堯氏(日本南画院 理事)

会場は南丹市立文化博物館

参加費無料(ただし入館料が必要)

※9月16日(日)は席上揮毫を予定しています



開館20周年記念・平成30年度秋季企画展

人見少華展

～南画を極めた文人画家～

本年は、人見少華没後50年という節目の年にあたります。当館では過去に二度、少華のまとまった作品展を開催させていただきましたが、作品の悉皆的な調査まで及びませんでした。しかしながら、本年、当館が開館20周年を迎えるということもあり、可能な範囲で少華作品の所在調査を行い、本展を開催する運びとなりました。



人見少華は、明治20年(1887)2月、船井郡富本村(現南丹市八木町)に生まれました。同38年9月には、京都市美術工芸学校に入学し、42年3月に卒業、京都市立絵画専門学校に進み、『八百屋のかど』で文展に初出品初入選しました。その後に出品した文展でも『日盛』『藤なみ』がそれぞれ入選しています。

しかし、少華は初期の文展に入選して以後、官の展覧会と絶縁したために、その作品が人々の目に触れる機会を少なくしてしまいました。しかし、少華が次の舞台とした南画院展に出品される作品は、識者の間では注目されていました。少華は名声を求める作家というよりも、自らが画を描いて楽しむ人であったように思われます。

これを示すように、少華の作品は南丹市域を中心に膨大な数が残されており、地元の方々の間で大切に保管されています。今回展覧した作品は一部にすぎませんが、今後の人見少華研究の一助になれば幸いです。



【交通案内】◆自動車…京都縦貫自動車道「御部IC」もしくは「八木西IC」より約5分。
◆電車・バス…JR 園部駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園部線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または、市営ぐるりんバスに乗車、「回音館前」下車すぐ。徒歩の場合は園部駅から約30分。

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 / TEL: 0771 (68) 0081 FAX: 0771 (63) 2983



①



②



③



④



⑤



⑥

【掲載図版】<表面>「長夏繁英」(部分) 昭和5年 <裏面>①「秋塘子母鶏」昭和初期/②「四睡図」昭和20年代/③「老松雙鶴圖」昭和14年/④「鉄心先生の図」昭和28年/⑤「朝顔」昭和8年/⑥「紅白梅園」昭和33年 ※すべて個人蔵